



広報

vol.77

うんぜん

てづくりの
おひなさま



2月16日、千々石町のなかよしチャットで行われた「ひなまつり制作」の様子。

3月号
2012 March



特集 中学生議会



中学生が一般質問！

第1回新春雲仙市中学生議会 開催

1月14日議場で、雲仙市として初めての「中学生議会」が開催されました。市内8中学校から選ばれた25人の中学生議員が、身近な学校生活に関することをはじめ、雲仙市が今、直面している後継者問題、防災対策、観光振興など、さまざまな視点から一般質問を行いました。

広報
うんぜん
vol.77
3月号
2012 March

CONTENTS ～もくじ～

- 02 〔特集〕中学生議会
- 08 うんぜんクリック（観光情報）
- 10 うんぜんニュース
- 12 島原半島ジオパークを楽しむために
- 13 がんばらんば国体通信 ほか
- 14 はびねす通信
- 15 消費生活センターからのお知らせ
- 16 雲仙じげもん便り
- 18 福祉タクシー券、はり等施術受給者証
- 19 公用車の公売
- 20 まちの話題 My Town Topics
- 21 特定保健指導だより ほか
- 22 小児の休日診療開始 ほか
- 23 子育てホットステーション
- 24 皆さんからのご意見・プレゼント ほか
- 26 市からのお知らせ
- 28 情報コーナー
- 30 スクさんの日々 ほか
- 31 市長コラム・うんぜん健康レシピ ほか
- 32 うんぜんくらしのカレンダー

表紙のはなし



この日の子育て支援センター「なかよしチャット」では、手作りのおひなさまを制作。準備されているパーツを組み合わせ、顔を描いたら、自分だけのおひなさまが完成！

学校の設備について



浜田真奈津

議員（千々石中2年）

【質問】 教室にクーラーを設置し、勉強時の環境をよくしてほしいです。クーラーの設置についてお聞きします。

【答弁】（教育長）

学習環境の整備については、市の大きな課題であるので、現在、安心安全な学習環境の整備を優先し、校舎や体育館の耐震工事、防水工事、外壁の改修工事、運動場の整備などを計画的に行っています。地球温暖化や異常気象など、今後の状況によっては、何らかの対策を取る必要も出てくると思いますが、現在のところ、教室にクーラーを新たに整備する計画はございません。

【質問】

各クラスにクーラーを設置するのが難しいのなら、私たちは今年受験生なので、3年生の教室だけでもクーラーを設置することはできませんか。

【答弁】（市長）

市内の受験生の中学生の皆さんのためにクーラーを設置する、これは予算の問題もありますので、少し難しいと思いますけれども、浜田議員からご提言があったというのを踏まえて、今後の検討に進んでいければと思っております。



田中 里奈

議員（千々石中2年）

【質問】

黒板だとチョークの粉が制服に付き、制服が汚れたり、チョークの粉を吸い込んでしまったりする場面もあるので、ホワイトボードに交換してほしいです。黒板の交換についてお聞きします。

【答弁】（市長）

黒板は昔、文字通り黒い色をしていたことをご存知でしょうか。現在では濃い緑色をしています。それは、文字をくつきりと浮かび上がらせることや光の反射を抑えることなど、目に優しいものを開発してきた結果だと聞いています。粉がほとんど出ないなど、ホワイトボードにも良さはあり、黒板とホワイトボードのそれぞれの良さを生かしながら活用していくことが大切ではないかと考えます。

花いっぱい運動について



富永 雄太

議員（千々石中2年）

【質問】 私たちに何かできることがあれば力になりたいので、地域のために花いっぱい運動を推進してください。市長の考えをお聞きします。

【答弁】（市長）

花いっぱい運動は、緑の募金を活用して合併前から各町で行われ、雲仙市になってからも継続しております。

多くの老人会などのボランティア団体には、花苗の植栽をお願いしています。今後花いっぱい運動として、年2回花苗の配布を行いますので、老人会などと一緒に花苗の植栽をしてもらえれば、老人会の皆さんも大変助かると思います。

また、各中学校でも身近なところから花を植えていただき、地域の環境美化に協力をお願いしたいと思っています。大変素晴らしいご提案ですので、我々も一緒に頑張って推進していきたいと思えます。

観光地のPRについて



竹下 育美

議員（南串中2年）

【質問】 雲仙市内には、素晴らしい自然や、歴史的に価値のある建物が数多くあります。それを日本全国あるいは世界にアピールしていく考えがありますか。

【答弁】（市長）

南串山の史跡、風光明媚な景色などを、いろんなところに伝えていきたいと思っておりますし、福岡の「キトラ」やホームページなども使って伝達をしていくつもりです。竹下議員も、自分の生まれ育った南串山が素晴らしいところだということを、アピールしていただければと思っています。

雲仙市に人を集める方法について



杉山真理奈

議員（南串中2年）

【質問】 雲仙市へ人が集まるようにするには、どうすればいいとお考えですか。雲仙市から長崎市までの橋や、海底トンネルができたらいなという夢があります。夢は実現するでしょうか。

【答弁】（市長） 雲仙市から長崎市までつながる、長くて大きな橋やトンネルは、費用対効果という面を考えると、非常にお金がかかり、その効果との問題に落差があります。ご提言はしっかりと受け止めさせていただきませんが、なかなか厳しいのではないかと思います。もっとほかの方法で、皆さんが言うておられる人を集めることに、努力を重ねていきたいと思えます。

【あわりのことば】

中村 葵
議員（南串中2年）

これから、私たち中学生にも夢を与えていただくような取り組みをぜひお願いします。市の取り組みや考えがよくわかりました。これからも雲仙市の観光発展のためによりしくお願いします。

若い人たちの流出について



林田 秋来
議員（吾妻中2年）

【質問】

吾妻中学校の全校生徒に「将来、雲仙市に残りたいか」というアンケートをとりました。残りたいと言った人は、229人中12人でした。今、雲仙市にいる若い人たちが将来、雲仙市に残りたいと思うような市づくりが必要だと思います。



中山 涼太
議員（吾妻中2年）

耕作放棄地を利用して、若い人たちが農業の仕事ができる仕組みが必要だと思いますが、市長はどのように考えますか。

【答弁】（市長）

今年度、新たに農業に従事した人は15人で、市全体の農家のうち後継者が確保できたのは、率にしてわずか0・5%ということになります。しかし、市内には、青年農業者団体が7団体あり、合計

101人の皆さんがいろいろな活動をされ、自分たちで研究した内容を定期的に発表し、その素晴らしい内容により、多くの賞を受賞しています。このような人たちが、地域の中心となって、農業の魅力を少しでも多くの人に知っていただき、農業後継者の減少を食い止めたいと頑張っていますので、今後も発表大会や団体を運営していくための経費の助成などを行いながら、支援していきたいと考えています。

耕作放棄地は、雲仙市の面積の約2%にあたる約4・4㎏あります。市では、平成22年度から5年間にかけて約1・2㎏を解消する計画を作り、農家の皆さんへ、耕作放棄地の解消のお願いや解消するときの手助けとして、いろんな補助事業を実施し、耕作放棄地が減少するように努めています。

耕作放棄地は、雲仙市の面積の約2%にあたる約4・4㎏あります。市では、平成22年度から5年間にかけて約1・2㎏を解消する計画を作り、農家の皆さんへ、耕作放棄地の解消のお願いや解消するときの手助けとして、いろんな補助事業を実施し、耕作放棄地が減少するように努めています。



豊田 翔
議員（吾妻中2年）

【質問】

雲仙市の職場づくりについて、どのようなことを実行しているかと考えているのですか。

【答弁】（市長）

人口の減少が進む本市にとって、

働く場所を確保することは、市が取り組むべき課題の中でも、特に重要な課題と考えています。そのため市では、地元で頑張っている商店や企業などへ支援を行ったり、市外から企業を呼び込むための仕事をしています。例えば、工場などを雲仙市内に建設する場合、建てる費用の一部を補助金や貸付金という形で支援したり、市内の豊かな農林水産物を使ったお菓子や加工食品といった、新しい商品の開発などに対しても支援を行っています。

農業の活性化や職場づくり以外で、人口や若者の流出をくい止める対策についてお聞きします。

【質問】

私たちは、今一生懸命、雇用人口を拡大し、住まいの快適さを向上させることにより、定住する人々を確保していきたいと思っています。それから、新しく働ける場所を提供するために活動していることと思います。これからは、世界感覚で仕事ができるようになってきます。自宅にいて世界の人たちと商売ができるような仕事も、インターネットを使ってできると思います。そういったことも含めて、皆さんが新しい時代に対応できる仕事を作っていたければ、それに対応する応援をしていき

【答弁】（市長）

私たちは、今一生懸命、雇用人口を拡大し、住まいの快適さを向上させることにより、定住する人々を確保していきたいと思っています。それから、新しく働ける場所を提供するために活動していることと思います。これからは、世界感覚で仕事ができるようになってきます。自宅にいて世界の人たちと商売ができるような仕事も、インターネットを使ってできると思います。そういったことも含めて、皆さんが新しい時代に対応できる仕事を作っていたければ、それに対応する応援をしていき

いと思っています。

市長の仕事について



川上 祐佳
議員（北串中2年）

【質問】

どうして市長になりたいと思ったのですか。

【答弁】（市長）

私は児童会・生徒会で活動する中で、みんなの意見をいろいろと聞きながら、どういう形で結論を導きだすのか、また、みんなの意見をまとめられることに、生きがいを感じられるような仕事につきたいなと思いました。図書室で、主に政治をやってきた人たちのお話を読んで、こういうふうに分も生きていけたらなと思って、その道に進むことを漠然と考えていました。

【質問】

どうしたら市長になれるのか、お聞きします。

【答弁】（市長）

私は、選挙で雲仙市民に選ばれて市長になりました。市長の場合、満25歳以上の日本国民であれば原則、立候補することができ、任期

は4年間となっています。



笹田 真由
議員（北串中2年）

【質問】

市長は、普段どんな仕事をされているのですか。

【答弁】（市長）

雲仙市民の皆さんが健康で安心・安全に生活できるよう、また、雲仙市がますます発展するように、いろいろ政策や計画、制度などを考えたり、それらを実現するために、皆さんから納めていただいた税金を有効に活用し、それを公平に配分するための予算を作ったりしています。国や県へ行つて、雲仙市がやりたい計画や事業などを説明し、実現できるよう、また、市の財源は少ないため、国や県からの補助金などを頂けるよう、お願いすることも多くあります。また、雲仙市を売り込むために、中国や韓国などの海外や東京・大阪などに出かけ、観光のPRなどを行う「トップセールス」も行っています。そのほか、会議などに出席して、いろいろな団体や市民の皆さんのお話や意見を聞くなど、幅広い範囲の仕事をしています。

【質問】

今までの苦労、喜びなどをお聞かせください。

【答弁】(市長)

皆さまから頂いた税金を、市民の皆さまのために使うということが大きな使命であります。そのためには、やはり公正ということを考えてなければなりません。そこには、いろんな意見があり、いろんな今までのつながりというのがあります。そういったときに、非常に厳しい判断を迫られることもあり、苦しい思いもします。ただ、そうした中で、皆さんから「よかつた」と言われるときの嬉しさというのを感じています。

税金の使われ方について



永江 祥大 議員(北串中2年)

【質問】

雲仙市の税金は、どのようなことに使われているのですか。

【答弁】(総務部長)

市は、市民が豊かでよりよい生活を送れるようにするために、皆さんが毎日通っている学校の校舎を地震に耐えられるようにするた

め、耐震化工事をはじめ、道路や橋の整備、市民の生命や財産を災害や犯罪から守ること、生活に困っている人への支援、公民館やスポーツ施設の維持管理、水道・下水道の整備など、広い範囲にわたってさまざまな仕事をしています。

【質問】

市が、市民の皆さんのために行っているこのような仕事全般を「行政サービス」といいますが、行政サービスを市民に提供するためには非常にたくさんのお金がかかり、その経費を賄うために税金が使われています。

地震対策について



宅島 佳祐 議員(小浜中2年)

【質問】

雲仙市では、どのくらいの地震が予測され、どのくらいの被害が予想されますか。具体的にはどのような対策を立てていますか。

【答弁】(市長)

さまざまな災害が発生した場合、迅速に対応できるように、雲仙市地域防災計画を作成しています。この計画の中で、地区別に避難

場所を指定していますが、昨年の東日本大震災での被害などを参考に、避難場所の見直しを行っています。

【答弁】(市民生活部長)

島原半島には、雲仙活断層群と呼ばれる複数の断層が確認されていて、これらの断層が連動した場合に、最大でマグニチュード7.7、震度6強から5強の地震が想定されています。この場合の被害は、建物の被害が約3万4千棟、死者数は約2千人と想定されています。

昨年の東日本大震災での被害などを参考に、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」という自主防災組織による防災訓練を推進しています。皆さんも日ごろから、地震が起きた場合に備え、避難場所を確認したり、防災訓練に参加するようにお願いします。

津波対策について



西川 絢 議員(小浜中2年)

【質問】

東日本大震災からもう10カ月がたちました。東日本大震災では、

津波への対策不足が浮き彫りとなり問題になりました。



宮 寄 彩 議員(小浜中2年)

小浜町には、海に面した家がたくさんあり、もし、東日本大震災の時のような大きな津波が発生すると、大きな被害がでると予想されます。市では、具体的な津波対策を立てていますか。

【答弁】(市長)

地域防災計画の中で、津波につきましては、最大で2.7mとなることを想定し、島原半島や周辺地域で、数力所が浸水被害を受けると予想しています。こうなった場合の対策は、まず、市の防災行政無線を使って、いち早く災害発生などの情報を住民の皆さんへ伝えるようにしています。

また、防災訓練などを通じて、市民の皆さんが被害を防ごうとする気持ちを高めていただけるよう努めています。津波から助かるためには、慌てず、速やかに高台へ逃げるのが、一番大切になってきます。皆さんも普段から高台の避難場所を、家族で確認しておいてもらいたいと思います。

安心、安全な通学路について



中 峯 栞 議員(瑞穂中2年)

【質問】

部活動から帰るときに、暗くて危なく感じたり、きれいに整備されていない道でけがをしたり、水路にふたがないところで、自転車が落下してしまうケースが多々あります。安心・安全な通学路の整備についてお聞きします。

【答弁】(市長)

街灯は、道路の明るさや、何人ぐらいの人がその道路を通っているのか、設置するのに適当な場所があるのかなどの基準によって、設置するかどうかを決めています。皆さんが安心して通学できるように、自治会などの関係機関の協力を得て、危険な通学路などがなくなるよう努力していきます。

【答弁】(市民生活部長)

ガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設の設置につきましては、年間約4700万円の予算で整備を行っています。設置は、自治会からの要望により行っています。

通学時に危険と思われる個所については、まずお父さんやお母さんに相談して、地区の自治会長さんに話をしてもらってください。設置の要望がありしたい、現地調査などをした上で設置を行うこととなります。

【答弁】(建設整備部長)

市では、市道の管理を専門に行う職員が、毎日市道の状況確認を行っています。さらに、郵便配達員の人たちからの通報などにより、道路の傷みによる危険なところを、応急的に補修しています。

また、市内各自治会からの報告などにより、危険な場所の把握に努めており、今後とも、事故が起きないように、速やかな補修・改良を行い、皆さんの安心・安全な通学路が確保されるよう努めていきます。

【おわりのごは】



古川 詩音
議員 (瑞穂中2年)

丁寧にお答えいただき、ありがとうございました。私たちが、安全に生活できるような対応をお願いします。

入学式・卒業式の
市長出席について



大場 大生
議員 (瑞穂中2年)

【質問】

入学式や卒業式のメッセージは市長本人から頂きたいと思っています。通信システムを利用して、各学校に市長の映像を、一斉に映すことはできないでしょうか。

【答弁】(教育長)

同時中継を行う上で課題となるのは、放送を受ける学校が、市長を撮影している学校の時間に合わせる進行時間を調節しなければならぬことです。卒業証書授与の時間が生徒数によって大きく変わるように、式の時間は学校によってまちまちです。前もって各学校の式の進行時間をそろえておくのは、非常に難しいと考えます。

【質問】

一斉放送が無理ならば、録画したものを各学校に配布するのはどうでしょうか。

【答弁】(教育長)

事前に録画しておいたものを、各学校の進行に合わせて映写することは、よいアイデアだと思います。

社会体育施設の充実
について



中田 里穂
議員 (国見中3年)

【質問】

国見町のコミュニティグラウンドはナイター設備がなく暗いため、部活動やウォーキングをする人が不便に感じています。暗くて危険だし、事故にもつながると思います。また、国見町のコミュニティグラウンドのトイレが、掃除してもにおいが気になり使いにくいのです。ナイターの設置とトイレの整備についてお聞きします。

【答弁】(市長)

国見地区におけるナイター照明は、「遊学の里」と「国見中学校グラウンド」の2カ所に設置されています。平成23年4月から12月

までの国見中学校ナイターは、66回の利用回数となっており、利用状況からすれば、ナイター施設が不足しているとは言いきれない状況です。今後中学校グラウンドのナイターを効率的に利用してもらいたいと思います。

屋外トイレの水洗化も必要とは考えていますが、平成24年度までは学校施設の耐震化など、安心・安全を重視した工事を優先する計画としていますので、それらの工事が終了した後に、トイレの水洗化ができるよう考えていきたいと思っています。



吉田 彩夏
議員 (国見中2年)

【質問】

遊学の館を使用すると、移動時間もかかります。国見中学校のナイターはありますが、コミュニティには明るいナイターがありません。1つでもいいのでコミュニティに明るいナイターを設置できないでしょうか。

【答弁】(教育長)

皆さんが熱心に部活動に取り組んでいることは、本当に嬉しく思っています。ただ、小学校もそうですが、子どもたちがあまり過

中学生議会議員の感想

毎回の活動はとても楽しくて、充実した日々が過ごせました。この中学生議会を通して、より雲仙市のことを知れたし、雲仙市のために何ができるか、考えるきっかけにもなりました。

(国見中学校3年 中田里穂)

瑞穂中の質問は6番目でしたが、質問するときは、自分で震えているのが分かりました。無事終わり、昼食のとき市長さんが話されていて、最初は恐そうだったけど、とてもおもしろかったです。

(瑞穂中学校2年 大場大生)

事前協議会をすることで、何か大きなことを成し遂げるためには、しっかりとした準備が必要だということも分かりました。さらに、税金の使い方、市長さんたちの苦労など知ることができて、とても良かったと思います。

(吾妻中学校2年 中山涼太)

たくさんの意見を聞き、雲仙市には、まだ改善点があることを知りました。しかし、将来的に雲仙市を変えていくのは、私たちだと思っています。まずは、この経験を生かして、中学校生活をよりよいものにしていきます。

(愛野中学校2年 津田可奈子)

激な部活動をして、体を壊す事例も発生しており、市全体としては各学校にクラブ活動、それから小学校の社会体育活動のためナイター設置は、現在行っていないところです。



松尾 彩音
議員 (国見中2年)

【質問】

商業施設の通行の邪魔になるところに自転車駐輪したり、並べ方が悪かったりと、自転車のマナーを守れていないところを見かけます。商業施設の自転車駐輪スペースの設置についてお聞きします。

【答弁】(市長)

広報紙などで、正しいルールやマナーについてお知らせする必要がありますと感じています。また、違法な駐輪につきましては、警察署などに、改善の指導をお願いしたいと考えています。

【答弁】(農林水産商工部長)

基本的には、市が商業施設のために駐輪場を設置するものではなく、自分たちのお店に来店されるお客さまの安全や利便性を考えて、商業施設の事業者が対策を行ってほしいと考えています。

大型ショッピングモールの建設について



佐藤 夏南
議員 (愛野中2年)

【質問】

雲仙市内に大きなショッピングモールがあれば、雲仙市内が活気づくのではないかと思います。市では、どのようにお考えですか。

【答弁】(市長)

ショッピングモールは、市が建設するというものではなく、あくまで民間企業が建設するものだと考えています。企業は、規制や周辺地域の人口分布なども詳しく調べた上で、ショッピングモールなどを建設しますが、利益が上らないと、撤退することにも十分に考えられますので、慎重に対応していかなければならないと考えています。

【質問】

前向きに検討するのか、しないのか、よくわからなかったため、もう一度お願いします。

【答弁】(市長)

こういった事は行政が進めていくというよりも、皆さんの声が大きいかどうか、皆さんの希望があ

るかどうかが、ということが大きな原因になってきます。市民の皆さまからの声が大きくなってきますと、やはり行政もその声を受け止めないといけないと思います。私たちも、市民が快適に暮らしていくためにはどうしたらいいのか、そして、自営などにより生活している人たちを守っていくためには、どう頑張らなければならないのか、そういうことも含めて、両方のご意見を広く聞いて、今後の雲仙市の発展も考えながら、進めていくということと考えています。

文化ホール・図書館の設置について



松永裕太郎
議員 (愛野中2年)

【質問】

愛野町への文化ホール・図書館の設置についてお聞きします。

【答弁】(市長)

市内の公共施設については、配置状況や施設にどのような機能を持たせるかなど、今後十分に調査研究する必要がありますと考えておりますし、議員のご意見が市民の皆さんの声として、市全体に広がっていく、可能性として考えられ

るようになれば良いと思います。

【質問】

仮に、AKB48が来たときに、踊ったりするのはきついと思えます。大きな文化ホールの設置について、どのようにお考えですか。

【答弁】(市長)

ステージを広く使うような芸術的な環境のために、市民の皆さまが使いたい、あるいは島原半島全体で大きく広がるようなことがあれば、検討しなければならぬと思います。しかし、まだ今は大きく広がってはいませんので、この声がこれから先大きく広がっていく、たくさんの人たちのご理解をいただけるようならば、実現できる可能性がでてくると思います。



津田可奈子
議員 (愛野中2年)

【おわりのことば】

今回の質問を通じて、市長が文化面でも地域の活性化に取り組まれていることを知り、とても感激しました。雲仙市内に住む私たち中学生も協力できることがあれば、これから取り組んでいきたいです。これからも雲仙市のために頑張ってください。

中学生議会に参加して、みんなが考えていることが分かったし、それに対しての市長の考えも聞けたので勉強になりました。議会では今、どのようなことを話し合っているのか、興味があるので、市議会の中継を見てみたい。

(千々石中学校2年 富永雄太)

貴重な体験をさせていただきました。議場に入り発言できたこと、市長さんと会うことができたこと、他校の生徒と話すことができたこと。この議会では、人前で話すことの難しさ、人に物事を伝える難しさを改めて感じました。

(小浜中学校2年 宅島佳祐)

ドキドキして質問するときも、どこを見ればいいのか分からないくらいでした。市長さんに質問し、市長さんも児童会や生徒会に入っていたことが分かりました。前から、みんなをまとめるのが好きだったんだなあと感じました。

(北串中学校2年 笹田真由)

中学生議会に参加して、質問内容を決めたりすることで、南串山や雲仙市のことをいっぱい知ることができました。雲仙市は、いいところがたくさんあるので、もっともっとたくさんの人にきてほしいなあと感じます。

(南串中学校2年 竹下育美)

うんぜんクリック

観光物産まちづくり推進課 (☎38-3111)



キトラスは盛りだくさん!

2月15日～17日に、キトラスキャンペーンを行いました。
 雲仙市からは、雲仙観光ホテルや本多蒲鉾店などがジャムやカレー、スイーツ、てんぷらなどの特産品を販売しました。期間中は、キトラスファンクラブ加入キャンペーンにあわせた「ガラぼん」や恒例の餅つきなどでにぎわいました。



つきたての餅を配りました

市内限定 雲仙市ポストカード販売中

市内各町の名所や季節限定の花を写真におさめた、ポストカードを販売中です。
 国見町鍋島邸の緋寒桜や小浜町のジャカラランダなど、雲仙市のすばらしさ満載です。

- 【販売価格】
- 1セット
300円(8枚入り)
 - バラ売り
1枚50円

【問い合わせ・販売場所】
 雲仙市観光協議会
 ☎0957-38-3839



今月のワンショット

鍋島邸の緋寒桜 (国見町)

2月下旬から3月にかけて、神代小路では緋寒桜が鮮やかに咲きます。江戸時代の風景と一緒に楽しみたい。



【写真提供】雲仙市観光協議会 (平成23年3月7日撮影)



各地の
ご当地ちゃんぽん大集合!
ちゃんぽん
フェスティバル開催

小浜マリンパークに、各地からご当地ちゃんぽんが大集合します!

熊本県の水俣ちゃんぽんや北海道網走ちゃんぽんなど、特色のあるご当地ちゃんぽんを食べ比べしながら、足湯でほっこりしてみたいはいかがですか?

また、前日の3月31日(土)には、ご当地ちゃんぽんサミット(午後3時~小浜町南本町公民館にて 入場無料)も開かれます。

- 【期日】 4月1日(日)
【時間】 午前10時~午後4時(予定)
【会場】 小浜マリンパーク
【問い合わせ】
小浜温泉観光協会(☎0957-74-2672)

**市内老人会(クラブ)様向け
特別サービスプラン(平日限定)**

■ 日帰りプラン(入浴休憩+食事)
お一人様 **2,000円** (税込)

■ 宿泊プラン(1泊3食付)
お一人様 **6,000円** (税込)

朝食付きの宿泊と
翌日(または当日)の昼食をセット
※昼食は、丼物か麺類の一品

- ◎10名様以上の団体でのご利用に限ります。
- ◎上記プラン以外にも、ご予算に応じて承ります。
- ◎マイクロバスでの送迎については、ご相談ください。

雲仙市民 いきいきプラン

各種サロンや婦人会など、老人会以外の団体の皆さまは、こちらをご利用ください。

■ 日帰りプラン(入浴休憩+食事)
お一人様 **2,300円** (税込)

■ 宿泊プラン(1泊3食付)
お一人様 **6,300円** (税込)

- ◎10名様以上の団体でのご利用に限ります。
- ◎マイクロバスでの送迎については、ご相談ください。

国民宿舎 **望洋荘** ☎74-3141



春の夜空を焦がす、大輪の花火の競演「雲仙市全九州花火師競技大会」が、今年も開催されます。

第25回雲仙市全九州花火師競技大会

- 【日時】 4月1日(日) 午後8時~
【会場】 小浜港(小浜マリンパーク)
【問い合わせ】
小浜温泉観光協会(☎0957-74-2672)

観櫻火宴2012

~日本一のたいまつ武者行列~



桜の名所・橘公園の桜の開花にあわせて、勇壮な火祭りが今年も行われます。四百数十年前の史実を基に再現される、勇壮な鎧武者たいまつ行列は必見です。

3月21日(水)まで参加者も募集中です。ぜひご来場いただき、お楽しみください。

- 【日時】 3月31日(土) 元服式 午後4時30分から
出陣式 午後6時30分から

【会場】
千々石海岸(福石公園会場)、橘神社ほか

- 【問い合わせ】
観櫻火宴実行委員会(☎090-8391-6739)

雲仙市立南串第一小学校諏訪の池分校が閉校

諏訪の池分校 55年の歴史に幕

南串第一小学校諏訪の池分校は、児童数の減少により、平成12年4月から休校となっていました。平成24年3月31日で閉校することになりました。諏訪の池分校は、昭和31年5月に開校以来、複式学級の成果が認められて賞を受けたり、「全国野鳥保護のつどい」で文部大臣奨励賞を受賞したりという実績を残してきました。しかし、休校後、学校再開の見通しも立たないことから、教育委員会と地域の皆さんとの話し合いが行われ、閉校することで合意されました。



諏訪の池分校の校舎

雲仙市総合計画審議会では、平成24年度から28年度までを計画期間とする「雲仙市総合計画後期基本計画」の策定について、市長からの諮問を受け、市民アンケート調査結果やパブリックコメントなど、市民の皆さんからの意見を踏まえた上で、審議を行ってきました。同審議会は、5回の審議会を経て、1月20日に市長へ答申書を提出。答申に際し、「計画の趣旨や内容を分かりやすい形で市民に周知し、理解と協力を求めること」、「計画の適切な進行管理を図ること」などの要望を市長に伝えました。



答申書を市長に提出する小林会長(左)と吉田副会長

雲仙市総合計画審議会から答申
計画の内容を周知し適切な進行を

1月20日、島原市有明総合文化会館で島原半島地区青年農業者連絡協議会実績発表大会が開かれました。半島内17人(雲仙市から6人)の青年農業者が意見発表を行い、最優秀賞を含む6人が入賞。うち、4人が雲仙市代表という結果でした。

【優秀賞受賞者】

国見町青年農業者連絡協議会

片田 慶法さん

愛の町農友会 大島 将平さん

千々石町農業研究会 荒木 政勝さん

南串山町4Hクラブ 寺田 太洋さん



(左から)寺田さん、荒木さん、大島さん、片田さん

島原半島地区青年農業者連絡協議会実績発表大会
雲仙市の青年農業者 大活躍

長崎県総おもてなし運動小中学生作文コンクール

優秀賞に小峰隆将くん(大正小)

このほど、「県総おもてなし運動」小中学生作文コンクールの小学生の部で、優秀賞に大正小学校6年の小峰隆将くんが選ばれました。このコンクールは、小中学生に観光が県の重要な産業であることを知ってもらい、自分たちにできることを考えてもらうことを目的に行われました。小峰くんの作品は、家族旅行先で見つけた、訪問者の視点に立って作られた看板に「おもてなし」の心を感じ、自分にもできる



賞状を手にする小峰くん

「おもてなし」を頑張りたいたいというものでした。

小峰くんは、今、自分にできる「おもてなし」を実践しているそうで、「小学校最後の年にこんな賞がもらえてうれしいです」と、喜びを語りました。



長崎県子ども会育成連合会から、団体表彰として雲仙市子ども会育成連絡協議会瑞穂支部（中峰富男支部長）が表彰を受け、また、個人表彰としても同支部事務局長の瑞穂真爾さんが表彰を受けました。

同瑞穂支部は、昭和33年に瑞穂町西郷地区・大正地区の子ども会育成協議会として発足。52年10カ月という多年にわたる地域教育活動の功績が認められ、表彰されました。

また、瑞穂さんは、昭和63年に瑞穂町東地区子ども会指導部長に着任して以来、現在に至る23年7カ月もの活動の功績が認められ、表彰されました。



支部長の中峰さん(左)と事務局長の瑞穂さん

長崎県子ども会育成連合会から表彰
雲仙市子ども会育成連絡協議会瑞穂支部へ表彰状

雲仙市自治会長連合会は、1月18日に「雲仙市政についての要望」と題した要望書を、市長に提出しました。

また、31日には、各町の正副自治会長からなる自治会長連合会による「自治会活動を活性化するための懇談会」が開かれました。懇談会では、「自治会活動に対する財政援助」、「防災対策」などを市へ要望し、地域が抱える課題・問題などについて意見を交換。市長から、「意見や要望を真摯に受け止め、市政運営に生かしたい。また、今後も住民自治の振興と市民協働のまちづくりを推進したい」と回答がありました。

自治会と行政が協力し、市民全員参加の協働のまちづくりを積極的に進めることが再確認されました。



活発な意見交換が行われました

自治会長連合会 市政への要望と自治会活動を活性化するための懇談会
市民全員参加の協働のまちづくりのために

第6回島原半島地区対抗駅伝

国見チームが初優勝

島原半島地区対抗駅伝競走大会が1月15日にあり、国見チームが優勝を飾りました。この大会は、公立新小浜病院前バス停付近を発着点とし、南島原市商工会加津佐支所を折り返す7区間、37kmのコースで行われました。出場チーム数は、半島内から15チーム（うち2チームはオープン参加）。雲仙市内からは、4チームが出場しました。優勝した国見チームは、総合記録で昨年の記録を7分21秒上回ったことで躍進賞にも輝き、3選手が大会新記録で区間賞を獲得するなど、大きな活躍を見せました。

【雲仙市内各チームの記録】

- 優勝 国見 2時間11分26秒
- 8位 千々石 2時間28分25秒
- 10位 小浜 2時間34分06秒
- 12位 南串山 2時間41分33秒

【区間賞】

- 1区（7.28km） 村里 綾（国見） 23分29秒（区間新）
- 3区（7.80km） 大久保 守（国見） 25分37秒（区間新）
- 5区（4.70km） 竹田 竜太（国見） 15分26秒（区間新）



風を切って走る選手たち